

「れんけいレポート」

～地域連携室報告～

発行：河内長野市医師会 (TEL 0721-54-1700)

平成 28 (2016) 年 6 月・第 8 号

◎地域連携室ニュース：新年度より、村上祐基子、木下 恵両職員が着任。当室の専任は 3 名となり、河内長野市から委託を受けた「在宅医療・介護連携推進事業」等を稼働中。

◎ブルーカードシステム導入に向けた打合せ (第 2 回)：5 月 16 日 (月) 開催 (於・河内長野市医師会地域連携室)
本会担当者が集まり、下記病院説明会開催に先立ち、段取り、今後の方針等について協議。

◎ブルーカードシステム導入に向けた病院説明会：5 月 18 日 (水) 開催 (於・河内長野市医師会館)
市内外の 13 病院、消防署はじめ市役所の担当者出席。外山副会長が司会。中林会長の挨拶、自己紹介、外山副会長・追矢理事の趣旨等の説明、質疑応答、神戸理事の閉会の辞。その中で、追矢理事は「ブルーカードは上乗せのメリット」と強調し、多くの病院の参画を要請した。

◎ブルーカードシステム導入に向けた事務説明会：5 月 19 日 (水) 開催 (於・河内長野市役所別館)
上記病院説明会を踏まえて、市内の 3 地域包括支援センター、社会福祉協議会の担当者との意見交換。ブルーカードシステム推進委員会への参画も含めて、今後の協力方を依頼した所、了承された。
◇河内長野市との懇談：5 月 6 日 (金)、消防署に表敬訪問し、改めてブルーカードシステム導入に向けた協力方を依頼した所、了承された。

◇河内長野市地域ケア会議認知症施策検討委員会：4 月 25 日 (月) 開催 (於・河内長野市医師会地域連携室)
委員長に宮崎理事を選任。認知症初期集中支援チーム事業の実施に向けて、業務の流れ、各種様式、認知症サポート医の役割、今後のスケジュール等を確認。事業は今年 10 月スタートを目指す。

◇河内長野市地域ケア会議いきいき介護フェスタ検討委員会：4 月 28 日 (木) 開催 (於・河内長野市医師会地域連携室)
委員長に峯山管理者 (東部地域包括支援センター) を選任。フェスタの方向性と内容等を確認の上、今年は 9 月 11 日 (日) の開催予定とした。場所は、河内長野市立市民交流センター (キックス)。

◎医療・介護連携勉強会：5 月 17 日 (火) 第 9 回開催 (於・大阪南医療センター)。参加 116 名
「かわちながの連携シート」活用のアナウンスの後、山口理事による「フレイルって知っていますか？」の講演と指輪っかテスト等があった。フレイルとは、加齢による心身機能が低下した状態で、山口先生は「高齢者に生き活きとした生活を送って貰うために、フレイル予防は重要」と強調。

□富田林病院「看護フェア」：5 月 21 日 (土) 開催 (於・富田林病院外来フロア)
「町の保健室」や「認知症カフェ」が開設され、多くの住民が参加。いずれも看護師が担当し、健康チェック (特に骨密度測定が好評) やタッチパネル式認知症判定等が実施されていた。

□南河内在宅医療を考える会：5 月 21 日 (土) 開催 (於・藤井寺市立市民総合会館)
「在宅医療と医療連携～楽しい在宅医療を～」をテーマに、函館市の岡田晋吾先生が講演。多職種連携の重要性、特に、退院時カンファレンスに参加するなど病院との関係構築に苦心が窺い知れた。その中で、市内病院の紹介状書式を統一して貰ったとの報告もあった。

☆【Topics】

◎河内長野市地域ケア会議：介護保険法第 115 条の 48 に定められた法定会議で、地域包括支援ネットワークの構築等を目的としている。代表 (議長) は神戸理事で、主管はいきいき高齢・福祉課。会議内には、認知症施策検討、ブルーカードシステム推進、いきいき介護フェスタ検討の 3 委員会があり、個別の地域課題を夫々検討、協議する。他に、個別地域ケア会議 I・II を設置。次項参照。

河内長野市地域ケア会議

個別地域ケア会議Ⅰ・Ⅱ

Ⅰ担当：地域包括支援センター

Ⅱ担当：いきいき高齢・福祉課

<委員会> 個別の地域課題を検討、協議するために設置

○ **認知症施策検討委員会** (認知症初期集中支援チーム検討委員会)

⇒ チーム員会議

○ **ブルーカードシステム推進委員会** ← 在宅医療・介護連携推進事業の(エ) 在宅医療介護関係者の情報共有の支援事業 (河内長野市医師会受託)

事務局：河内長野市医師会地域連携室

○ **いきいき介護フェスタ検討委員会**

注：いきいき介護フェスタ実行委員会は地域ケア会議

<地域ケア会議>

◎ 設置根拠：介護保険法第115条の48

河内長野市地域ケア会議設置要領

◎ 位置づけ：在宅医療・介護連携推進事業の(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討事業

- ◎ 目的：
- (1) 地域包括支援ネットワークの構築
 - (2) 地域の社会資源情報の集約と活用
 - (3) 地域が抱える課題分析及び共有化
 - (4) 援助困難事例の検討
 - (5) 地域の介護支援専門員及びサービス事業者の調整、指導及び支援
 - (6) 新たなサービス資源開発
 - (7) その他

◎ メンバー：市役所（主管：保健福祉部いきいき高齢・福祉課）、医師会、歯科医師会、薬剤師会、病院、訪問看護ステーション連絡会、社会福祉協議会、地域包括支援センター、ケアネットワーク会議、認知症地域支援推進員